

## 各教科・領域等における指導事例

各教科・領域における人権教育を推進するため「知的理解を深める授業づくりの事例」「人権感覚を育てる授業づくりの事例」について、小学校・中学校・高等学校の指導事例を示しています。

※ 学校において人権教育を展開する際には、人権教育の目標と各教科等の目標やねらいとの関連を明確にした上で、人権に関する意識・態度、実践力を養う人権教育の活動と、それぞれの目標・ねらいに基づく各教科等の指導とが、有機的・相乗的に効果を上げられるようにしていくことが重要です。

そこで、本指導事例では、児童生徒間の望ましい人間関係を形成し、人権尊重の意識と実践力を養う学習活動を展開していくため、「人権教育で育てたい資質・能力」の育成と「人権が尊重される授業づくりの視点」をどのように工夫して指導するか、その具体的な例を紹介しています。

各学校においては、各教科等の目標と児童生徒の実態を踏まえ、よりよい授業をつくるための様々な工夫が求められています。

## 活用に当たって

指導事例は、以下のポイントを踏まえて、構成・配列しています。

- ポイント1 幼児・児童生徒の発達段階等を踏まえた指導方法の工夫
- ポイント2 人権教育を通じて育てたい資質・能力の育成
- ポイント3 人権が尊重される授業づくりの視点

### ポイント1 児童生徒の発達段階等を踏まえた指導方法の工夫

児童生徒が心身ともに成長過程にあることに十分留意し、[第三次とりまとめ]の「指導等の在り方編」に示された「発達段階に即した人権教育の指導方法」を参考にして、作成しています。

### ポイント2 人権教育を通じて育てたい資質・能力の育成

- ① 知識的側面
- ② 価値的・態度的側面
- ③ 技能的側面

人権教育が目指す資質・能力（3つの側面）の育成を学校全体における系統的な指導内容として、総合的に位置付けることが望まれます。

指導事例では、「指導等の在り方編」に示された資質・能力の例を基にして、人権教育を通じて育てたい資質・能力をどのように育成していくか、「本単元(題材)で人権教育を進めるにあたって」「人権教育を通じて育てたい資質・能力」「人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例」などに示しています。

各学校においては、学校や学年で重点的に育成する資質・能力を設定し、教職員の共通理解のもとに取り組むことが求められます。

### ポイント3 人権が尊重される授業づくりの視点

- ① 自己存在感
- ② 共感的人間関係
- ③ 自己選択・自己決定

知的理解を深め、価値的・態度的側面や技能的側面の資質・能力を育成するためには、児童生徒が主体的、実践的に学習に取り組むことが不可欠です。指導事例には「人権が尊重される授業づくりの視点」を授業に積極的に取り入れています。

#### 【活用に当たっての留意事項】

本資料の活用に当たっては、以下の点に留意してください。

- 「指導の在り方編」や「実践編」の趣旨を十分に理解する。
- 各学校の人権教育の目標に応じ、内容や方法を設定する。

## 指導事例の基本構成

校種 第○学年 ○○科 単元名「 」

### 1 本単元で人権教育を進めるにあたって

- 本単元(題材)のねらいについて
- 学習内容と人権教育との結びつきについて
- 学習を通して、人権教育で育てたい資質・能力をどのように育成するか。

### 2 単元の目標

- 単元(題材)の目標(教科等)

### 3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

◆人権教育を通じて育てたい資質・能力(単元を通して) <3つの側面>

### 4 指導のポイント

(1) 知的理解を図る、人権感覚を育てる上で大切にしたいポイント

※2・3を達成するための指導のポイント等

(2) 人権が尊重される授業づくりの視点

- ① 自己存在感を持たせる支援の工夫
- ② 共感的人間関係を育成する支援の工夫
- ③ 自己選択・決定の場の設定の工夫

### 5 学習の流れ

(1) 指導計画 (○時間取扱い)

学習活動	人権尊重の視点を踏まえた指導上の留意点等
※教材(単元)全体の学習の概要 単時間の事例には、記述なし	

(2) 人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例

(○/□時間目)

目標

人権教育で育てたい資質・能力

3つの側面の育成及び「人権が尊重される授業づくりの視点」に関わる具体的な指導の工夫等を中心に、指導上の留意点を記述しています。

主な学習活動	○指導上の工夫・留意点 評価◇◆	備考
--------	------------------	----

### 6 資料

※指導資料の活用を図るために、本県で採択されている教科用図書に関連ページやワークシート等を掲載しています。